

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	別府溝部学園短期大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ベップミソベガクエンタンキダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	医療秘書実務実習Ⅲ
	学部・研究科等名	ライフデザイン総合学科 医療情報コース
	担当教職員名・役職	牧昌生・教授、東名理香・実習助手、野田麻里子・講師、橋本大志・講師
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	5
	受入企業等数	5
	受入企業等名	菊池内科医院、医療法人悠久会 株式会社ほりかわ、医療法人文浩会 おおさわクリニック、みずのえ呼吸器内科クリニック、医療法人輝心会 大分循環器病院
	インターンシップの分類	5.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	病院における医事及び診療実務等を実習し、病院の業務全般の流れを理解することにより、医療秘書の役割と実務の基本を習得する。病院等の窓口業務や診療報酬の請求業務、検査や投薬業務、入院の事務処理等、病院内の業務の実態を見学・体験学習する。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している。6.当該インターンシップは、選択科目として実施している。8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	2年生を対象に、夏季休業中の2週間のインターンシップを組み合わせた専門教育科目「医療事務演習Ⅲ」として実施している。本科目では、学生自身が直接医療機関に依頼し日程相談を行うことで自主性を促すと共に専門分野への高い職業理解を育成する。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている。2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている。4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている。2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全2回の事前指導の中で、実施の趣旨や受入先選定に関する研究、目的の理解、インターンシップ中のリスクマネジメント(第1回)、日誌の書き方やビジネスマナー指導(第2回)を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	就業体験と自らの学びがどのようにつながったのかを振り返る目的で、インターンシップ後の1年生を交えた報告会を実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	大学の教職員がインターンシップ中に学生と面談を行い、学生がインターンシップ中に作成する日誌も用いながら、業務内容や反省点、反省点を改善するための目標などを確認し、指導を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実施した学生及び後日実施予定の学生に対し、インターンシップ前後における変化をレポートとして作成することで、自己理解を促している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している。2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間13日間(うちインターンシップ実施期間10日)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	

	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	菊池内科医院、医療法人悠久会 株式会社ほりかわ、みずのえ呼吸器内科クリニック、医療法人輝心会 大分循環器病院において10日間のインターンシップを行っている。
要素 ⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前にインターンシップの意義や内容を受入企業にご理解いただいている。インターンシップ中に受入企業担当者と本学教職員との面談の場を設け、企業担当者のニーズを確認し、そのニーズに応えられるよう学生と目標の再設定を行い、受入れに係る負担感の軽減に努めている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://syllabus.mizobe.ac.jp/">http://syllabus.mizobe.ac.jp/</a>
問 い 合 わ せ 先	大学等名	別府溝部学園短期大学
	担当部署名	教務課
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	牧 昌生
	電話番号	0977-66-0224
	メールアドレス	mmaki@bm.mizobe.ac.jp